

分野連携企画報告書

行事（企画）名

日本JSME・韓国KSMEジョイントシンポジウム

行事URL

1.開催日・会場

2022年11月9～11日 済州国際コンベンションセンター（Hybrid開催）

3.企画内容

BE部門では韓国機械学会バイオエンジニアリング部門（KSME Bioengineering Division）との連携を発展させるために、2013年にMOUを取り交わし、日韓ジョイントシンポジウム（Japan-Korea Joint Symposium）を開催してきた。2018年から部門間交流も兼ねてSHD部門と本シンポジウムを共催することとなった。主な内容は、シンポジウムを毎年どちらかの国で開催するものである。本年は、BE部門とSHD部門の分野連携企画として、JSME/KSMEジョイントシンポジウムを2022年度KSME年次大会期間中にオンライン開催で企画した。

4.連携の成果

ジョイントシンポジウム実施に伴い、BE、SHD部門の運営委員会から企画担当、分野連携担当、国際担当、広報担当に参画してもらい、本企画のWGを構成した。WG会議を計3回おこなった。担当を明確にしたため、実施日、広報手段、講演者の選定など部門間で連携をとりながら円滑に進めることができた。

シンポジストは日本側3名、韓国側3名、Hybrid開催によりコロナ禍に対応した。シンポジウム終了後、WGメンバーを中心に、韓国側とその後のジョイントシンポジウムの進め方・意見交換をおこない、次年度はJSME年次大会に於ける企画としてシンポジウムを開催する予定である。

2.企画部門

バイオエンジニアリング（BE）部門／スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス（SHD）部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

2021年度より分野連携WGを構成したおかげで、役割分担が明確になり企画を円滑に進めることができるようになった。

部門ごとに運営体制などが異なることが多いので、部門運営を把握している部門運営委員会メンバーでWGを構成している。両部門間で情報共有、情報発信、シンポジスト選定などを円滑に進めることができる。

国際企画であるため、韓国側とのやりとりにおいては先方の意志決定過程なども考慮し、誰が誰にどのような相談をするべきかなどを事前にWG内で話し合っていることから、企画運営を円滑に進める体制となっている。

本企画のアナウンスメントを両部門のHPおよびインフォメーションメールで行うことにしているが、広報効果がどのくらいあるかは課題として残っている。